



福岡県トラック事業 政治連盟が推薦!



福岡県トラック
事業政治連盟
眞鍋 博俊会長

政権与党を担う公明党議員の皆様には、定期的な政策要望懇談会の場において、私ども業界の喫緊の課題について耳を傾けていただいております。直近でいうと、業界の悲願である北九州・下関道路の建設について、事実上の道筋を作っていただいたり、トラックドライバーの労働条件改善のための「標準的な運賃」の推進について、国土交通省をはじめ関係省庁に、積極的に働きかけていただきました。これからも引き続き、軽快なフットワークで業界の政策課題について果敢に取り組んでいただけたらと思っております。

「北九州・下関道路」整備計画が復活!

老朽化が進み、補修工事や事故のたびに渋滞や通行止めが発生する関門橋と関門トンネル。

物流機能の強化や、観光・生活圏域の拡大、災害時の代替路線として「北九州・下関道路」に期待が高まっている。

財政難などで一度は凍結した計画だが、公明党はこの間も粘り強く要求を続けてきた。

16年には、衆院国交委員会で早期建設を訴え、計画復活の道筋をつけ、17年に調査費の補助が決定した。



(2016月11日)

「賃金水準の引き上げ」 「労働環境の改善」

「公明党・あきの公造」が力強く推進!

◆「経済の血液」物流を守る 制度を導入

- 全産業平均レベルの賃金水準の引き上げ
- ドライバーの労働環境の改善
- 事業継続に必要なコスト確保のために「標準的な運賃」の告知制度を導入
- 原油価格高騰対策として、補助支援制度の創設をリード

背景

近年のネット取引普及による需要増で、輸送能力とのバランスが崩れつつあります。

重労働・長時間勤務という、身体的な負担が他業種より大きいにも関わらず賃金が抑えられがちであるため、若者らを中心に就労を敬遠されることも。

2030年には、00年の半数の50万人程度にまで減るという予想もあります。



あきの公造オフィシャルSNS

